

リサイズ

vol.12



イラスト さいかいみる

福岡県在住。1999年より、子どもの頃から大好きだった絵を描くことを仕事とする。2011年7月にはスマートフォン用無料アプリ「メチャくんのいつもいっしょ」をリリース！

ホームページ

<http://milart.info>

ブログ

<http://milart.info/blog>

カレンダー

7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

株式会社長崎材木店 リフォーム事業部

NAGASAKI TIMBER CORP.

福岡県古賀市天神5-10-5

☎ 0120-30-0354

TEL 092-944-3003 FAX 092-943-6208

<http://www.howsetop.com>

支店

◎本社総合展示場

◎福岡西展示場

◎福岡南展示場

◎(株)長崎材木店リアルエステート

◎ランドシップカフェ

事業部

◎注文住宅事業部

◎ログハウス事業部

◎リフォーム事業部

◎不動産事業部

◎ライフサポート事業部



ARIZONA

白木のスタッフ紹介

ライフサポート課 ハンディマン

～太夫本 勇～

日々奮闘し続けるスタッフの方を様々な角度から紹介する“スタッフ紹介”コーナーです。

今回は“ハンディマンの太夫本さん”に1日中同行しました！

今回もねばっく
密着させて
いただきます。



ARIZONA 白木

広告会社勤務。“お客様に適した広告物づくり”をモットーに日々奮闘中。今年こそはダイエット頑張ります！？

密着！太夫本さんの
ある1日

社内大工の
田中です。



7:35～8:00

7:35に出社して、すぐに本日の仕事の段取りに取りかかります。



朝礼が始まるまで、楽しく本日の段取りの打合せです。



ハンディマン号が準備万全で待機しています。



8:15～8:40

活気あふれる事務所内ではあらゆる所で打合せが行われています。



9:25～9:45

～宗像市のU様邸～
「介護保険居宅介護住宅改修費支給申請書」の受け取りに。



先程の書類を
持って申請です。

書類を受け取った後は、先日取り付けた手摺の確認と汚れが気になり掃除をし、宗像市役所へ移動。



緊急メール受信！

別の現場に移動中、“ハチ退治”の依頼メール。他のハンディマンと話し合いをし、現場へ向かいます。



作業着に着替え、床下へ。想像以上に大きな“巣”を発見。



12:00～12:50

予想以上に大きな“巣”です。これは危険ということで、すぐに専門業者に連絡し、現場を後に。



植木の伐採後、岡垣のG様邸に行く途中、またしても「水漏れ」の緊急メール。当然Uターンし、古賀市のH様邸へ。



お昼ごはんはコンビニに寄ってパンを2コ。とにかくじっとしている事が嫌いのことで動きまわります。



13:25～15:25

～岡垣町のM様邸～
電気工事のため、社内大工の田中さんと稲永さんのいるM様邸へ。本当に何でも出来ます。



17:00～17:15

～香椎のT様邸～
網戸の張り替えのための回収。小倉に帰る私の為に本日は17:30に帰社していただきました。

Profile

◎太夫本 勇さんのプロフィール

昭和59年9月4日生まれ。福津市出身。中村学園食物栄養科を卒業後、栄養士として受託給食会社に就職。数年後、家について学びたいと、長崎材木店に転職。

●自分への約束はありますか？
常に笑顔で、常に知識向上。

●取得資格
第二種電気工事士、高所作業者、管理栄養士

ARIZONA 白木が見た太夫本さんの人物像

とにかく全てが迅速対応。いつも笑顔を絶やさず前向きな対応です。「ハンディマンの仕事は奥が深く、楽しくてしょうがない」と太夫本さん。ハンディマン同士の会話ややり取りを聞いていると、これがチーム力で対応する「トータルサポート」だと実感した一日となり、私も勉強になりました。



ARIZONA
白木の

OB様訪問 ～家づくりの本取材風景～

「無垢材の優しさが家族をほがらかにする家」

～家づくりの本取材風景～



福津市
I様邸

今回のリフォーム ご提案のポイント!

- ① みんなが集う和室を洋間に。
- ② ダイニングスペースを広く、明るい雰囲気。
- ③ 段差をなくし、バリアフリーな空間に設計。
- ④ 作業しやすいキッチンが欲しい。

リフォーム後の住まいには、
設計士の八川さんの「全てを壊すのではなく、
残せる即存のしつらえは残したい」
という想いが詰まった、木の優しさを感じることのできるあたたかいお宅でした。



ARIZONA 白木

広告代理店勤務。“お客様に愛情を!”をモットーに日々奮闘中。奮闘し過ぎて空回りすることもあり。



八川さんのリフォーム内容の説明です。



知的目つ熱いハートの男です!



白木…いらん事を言うなヨ。

少し緊張しています…。

心配そうな八川さん。



そう! このショット!!

!?



???…。



よいしょ!!

ん?何をしているのかな?



こんな風に掲載出来ました。



カメラマン何をしているんだ?



今度は何を…?



こんな角度はどうだろう?

こんな角度からも!?



実際の掲載写真

やはりこの角度か!

ファインダー越しにはこんな風にみえるんだ〜!

※今回はカメラマンの視点から取材してみました。



『家づくりの本』では次ページのように掲載されました!

I様、取材にご協力いただき、誠にありがとうございました!



板張りの天井や、梁梁壁は以前のまま。手前の広縁と段差をなくし、一間続きに仕上げ広々とした居間に

古い日本家屋の和室を一新 無垢材の優しさがぬくもりを添える

長崎材木店 リフォーム事業部

リノベーション
Renovation
Works 04

福岡市在住
伊藤さん一家



- みんなが集う和室を洋間に
- ダイニングスペースを広く、明るく
- 段差をなくし、バリアフリーな空間に
- 作業しやすいキッチンがほしい



空間の広さを優先し、大型テレビを壁に造り付け。配線を隠すための造作がインテリアとマッチ



奥のキッチンへの採光を考え大型に。閉めているときでもキッチンには光がしっかり入る

長年暮らした 木造住宅を一部改良

「キッチンがこんなに明るくなるなんてびっくりです。しかも、寒くないんですよ。」

こちらは築45年以上が経つ2階建ての木造住宅。この家を建てたーさんと奥さま、息子さん夫婦とお子さんの3世代が暮らしている。

以前にも部分的なリフォームや増築を行っていたが、昨年の春、結婚して近くに暮らす娘さんからの紹介で「長崎材木店」に水回りのリフォームをお願いした。老朽化した風呂場や洗面所がスッキリすると、次はキッチンも...ということになり、再度リフォームを。キッチンをリフォームしたいと思ったきっかけは、本来ならゆっくり寛ぐはずの隣の居間で寛げなかったことから。

畳敷きの床に座る姿勢は80歳を越えたーさん夫婦には辛く、膝を折





キッチンを一変。壁に埋め込まれた食器棚は、もともとと同じ場所にあったものをリフォーム。棚の下部はオープンにして、ゴミ箱などを収納できるスペースにした



扉を付けて広縁を二分割。居間側の広縁は仕切りをなくして、居間を明るく、広く



建具などは元の家のデザインを壊さないように新たに製作。それに合わせ床材の色を選んでいるのでしっくりと馴染んでいる



らずに済むキッチンのダイニングテーブルで過ごすことが多くなっていたという。だが、キッチンは北向きで日当たりもあまりよくない上、狭くて寒い。「のんびりできる時間をもっと快適にしたい」。それが家族の希望だった。

**全面改裝せずとも
工夫次第で快適性がアップ**

広くて明るいキッチン。そして、いつでもリラクセスして寛げる居間。「土壁や建具など、古いけれど良いもの

はできるだけ活かしながらも、家族の団らんとしての快適性を高めました」とは、担当の八川一朗さん。畳の和室はソファなどを置ける洋室にリフォーム。さらに、広縁は調湿性の高い桐を天井仕上材に採用し、居間と段差をなくすことで続き間のようにして居住空間をより広くした。

キッチンはコンパクトで使いやすいユニットに一新。さらに、居間との段差をなくして、壁は取り去り、仕切りを大型のガラス引き戸に。開けておくと南向きの居間とともに、採光は抜群。暗く寒かったのが嘘のように、ぽかぽかと暖かく、明るいキッチンへとリフォームで実現した。「何十年も寒いキッチンで食事をしていたのが嘘のようです。居間も、ゆっくりテレビを観たり、お茶を飲める場所になり、家族が集まるようになって。ずっと大切に住み続けたいですね。」

COMPANY DATA

株式会社 長崎材木店
リフォーム事業部

福岡県古賀市天神5-10-5

連絡先

☎ 0120-30-0354

HPアドレス

www.howsetop.com

創業明治30年。 福岡県古賀市の会社 「長崎材木店」。



私たちは、福岡県古賀市で創業以来110余年「長崎材木店」の名をそのまま継承しています。その時どきの流行やトレンドに合わせた響きのよい名前を取り入れることもなく、創業より材木屋の屋号にこだわり続けています。

とは言うものの、材木という言葉を開けば一般的には材木を加工したり、運んだり、管理したりとそんなイメージを持つ方が大半ではないでしょうか？

私たちの基本姿勢は伝統と進化(創造)の融合が”本懐”です。伝統も古いままでは錆びついていく。新しい時代の新しい価値に応える柔軟な感性を大切に…。先人の知恵は新しい感覚と融合し、次の時代につながっていくと考えています。



私たちが考える「大切なコト」。

本業で言えば、木にこだわった注文住宅、ログハウス、リフォーム、不動産。お庭とグリーン、インテリア家具、コンテナハウスの制作etc…。社名は材木屋なのだけれど木材業、住宅のビルダーといった業務の説明がわかりやすいかもしれません。しかし、あなたの会社はどんな会社ですか？と聞かれた時に一言で言える言葉はなにか？



そんな時、常に考えているキーワードを並べて行くな生活、暮らし、ゆしみ、癒し、潤い、安心、リフレッシュ。つまり、暮らしを楽しむ為のソフトについてです。

ありきたりの言葉ですが「ライフスタイル」というソフトを追求することにより、家をつくることやインテリアの提案等「暮らしを楽しむ人の為」のライフスタイルのプロデュースを担っていくことが私たちの今の姿ではないでしょうか。

私たちの基本は「木の家」。 暮らしを、人生を、楽しむ人へ。



「木の家」で実現するとっておきの「暮らしを、人生を楽しむ」家づくり…。

それは私たち自身「木」に精通した住まいに対するこだわりと、日々の暮らしを楽しむことへの目差しを

大切にしたいライフスタイルとのいい関係を考えてきたモノやコトが関わっています。

海辺のモデルハウスを使ったカフェ、蔵を改装したバー、そしてサーフショップ、音楽&オーディオ、音楽ラジオ番組のスポンサー、ロングボードコンテストのスポンサー、はたまたライフセービング活動のサポートetc…。「暮らしを、人生を、楽しむ」ためのプロデュースをしてきたことを、私たちが実践し、住まいづくりに反映させることで「木の家」の専門店として、さらに充実したライフスタイルが実現できるものと考えています。



代表取締役 長崎 秀人